



# 広報あいら

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場  
発行者 岩根清春 編著者 梅木逸郎

(印刷所)  
キンプ堂印刷所

## 町の人口動態

(3月31日現在)	
世帯数	9,525戸 (+31)
人 男	13,738人 (-26)
人 女	15,318人 (-59)
口 計	29,056人 (-85)
出生	30人
死亡	18人
3月の 転入	398人
転出	502人



(重富小学校にて)

読み終つたら故郷を離れていたる家族や知人に送りましょ。

## 予防注射

地域社会の流行状況に即した予防接種が各地で行われています。

白衣を着用したお医者さんにそつと腕を差し出し、じつと注射器を見つめる児童・こわこわで足先まで震えている児童・注射は、こわくないや、と大声ではしゃいでいる児童、さもありまな表情をして予防接種を受けています。

健全な乳幼児育成を図るべく、疾病に対しても早期発見早期治療を促進し、予防行政の徹底化を図り健康保持に努めましょう。

# 施政方針

## 長期的眺望にたった 施策の遂行に新たな決意



岩根町長

①生活環境の整備促進と道路の整備促進

②教育の振興と教育施設の整備の促進

③産業経済の振興と基盤整備事業

④社会福祉の充実

今年は、私の町政担当最終年の総仕上げと更に発展の年として全力投球で、長期的な経済不況・低成長化の波を乗り切り長期的な眺望のもとにいた、人口増加に対応するために英知を結集し、現実的な課題に向って情熱と勇気をふりおこして最大限の努力を傾ける覚悟であります。

### 後年度負担の抑制

わが国をとりまく内外の経済環境は極めて厳しいものがあり、地方財政にも影響を及ぼし、町政を担当するものとして財源の重点配分と経費の効率化に努力しながら経常的経費は極力抑制し投資的経費の増大に努め、最大の主眼を後年度の財政負担の一要因となる公債比率を一パーセント台に抑圧することにおき、将来の眺望について次の課題を取り組んでいきたいと存じます。

本年度は基本計画の策定、河川表流水取水のための水利権の確保できれば、浄水用地の選定確保等に努力してまいりたいと存じます。

### 建設 上水道水源確保 生活道路を重点

上水道事業においては、年ごとに水の需要量が増加し、将来一日平均二万立方メートルの水が必要とされますので、これに対応する大型水源の確保に今年から取り組み、水源の確保策として五百万円を計上し昭和五十七年を目途に河川表流水を取水とする大型水源の確保に努めてまいります。

本年度は基本計画の策定、河川表流水取水のための水利権の確保できれば、浄水用地の選定確保等に努力してまいりたいと存じます。

以上の四項目を国・県費起債わく等の確定と自主財源の推移を見極めながら現段階において見込み得る財源を計上し町政発展に努力してまいりたいと存じます。

公共都市下水道の整備は、加賀木町と始良町が一体となって、計画等の策定を推進していくことで両町の意見の一致をみています。

公共都市下水道整備に先がけ昨年度から実施している最少限の幹線排水路を今年度も選定し年次計画により遂次整備してまいります。

### はじめに

岩根清春町長は、昭和五十年一月二十二日に就任して以来「清く豊かな福祉の町つくり」に挺身し弱者対策・開発など山積した問題に積極的に取り組み、長期的眺望にたつた施策の遂行に努力を重ねてきました。岩根町長は、任期最終の年を迎えて新たなる決意で、三月十日開会された第一回町議会定例会で昭和五十三年度の町政に対する所信の一端を表明し、各予算の概要について説明しました。

な事業を実施いたすことになります。また、県の強い指導等があり都市街路のまちかた等についての「土地区画整理基礎調査事業」を取り入れ、総合調査の中から住民の協力を得て一層住みよい都市づくりに力を入れてまいりたいと存じます。

公園整備につきましては、町有地三ヘクタールの船津字下宮田地内に、市民運動場を兼ねた公園を二ヵ年事業として、整備するほか「みどりのマスター・プラン事業」を導入し、都市計画と併行して自然と緑を残した田園都市つくりに努力してまいります。

公共都市下水道の整備は、加賀木町と始良町が一体となって、計画等の策定を推進していくことで両町の意見の一致をみています。始良西部地区広域行政の中の施設整備に一層の努力をなし地域の拡大に努めたいと存じます。

道路の整備については、産業経済の改革・重富中学校体育館建設・建昌小学校の児童増加に伴う仮称始良小学校新設のための用地の選定確保等に精力的に取り組んでまいりたいと存じます。

### 教育 町民総参加での 生きる施設整備に

人づくりと教育施設整備の問題は一日もゆるがせにできない重大な責務であると信じます。青少年の健全な育成を図り、社会連帯感のもとに教育文化活動の機会と場を拡充するために一層の努力を図ってまいりたいと存じます。

懸案中の帖佐幼稚園の鉄筋校舎の改革・重富中学校体育館建設・建昌小学校の児童増加に伴う仮称始良小学校新設のための用地の選定確保等に精力的に取り組んでまいりたいと存じます。

社会教育の面では、県下に誇る立派な公民館で住民ひとりひとりが豊かな心情と社会連帯意識をかん養することをめざし、文化協会や婦人会を中心として、各種の学級講座・社会体育等高水準の研修会を開催するなど、社会連帯意識を再ね、「人間愛あふれる豊かな福祉の町・教育の町」つくりに努力してまいりたいと存じます。

昨年設置いたしました勤労者体育センターの活用をさらに効果的にしてまいりたいと存じます。

所の機能を兼ね備えた管理室の併設、また帖佐中学校東側にある町有地一・二ヘクタールも町民の広場として体育の場として活用でき

に認可される見通しであります。

国道一〇号線バイパスの促進、日豊本線の電化複線化の問題、県道改良舗装の促進、生活道路の問題等積極的に推進し関係機関と連携をとりながら一層の努力を図ってまいりたいと存じます。

るよう、また、町民の健康は町政の基本でありますので、学校開放事業を積極的に進めながら併せて、町民総参加のできる施設整備に力を注いでまいりたいと存じます。

## 産業 畦道の声を町政に 土づくり 運動を推進

本町の水田耕作面積の約七・四パーセントにある七〇ヘクタールの転作指示が国からなされました。

今回の生産調整は、農業に大きな打撃を与えるだけでなく農政に大きな屈折点であり、まさに試練の年といえましょう。

農業振興を進めるためには、農家・非農家を問わずに集落に住むすべての人々が力を合わせて「畦道の声」を積み上げ、豊かでぬくもりに満ちた農村社会づくりを進めてまいりたいと存じます。

すでに、第一次・第二次農業構造改善事業の実施を通じ農地の基盤整備・農業の機械化・省力化された「良質米作り」養鶏・施設園芸・畜産（和牛・養豚）養蚕等の施設の整備や協業化・団地化を積極的に推進してまいりましたが、農家は多額の経費を施設に投入し経営が極めて苦しい状況にあります。したがって本年度もこれらの施設投資に対し利子補給を継続し各農家の経営安定化を図つてしまつたと存じます。

農地基盤整備地区におきましては堆肥作りとケイテツの施用によ

りに努力してまいりたいと存じます。

農業委員会の協力のもとで農用地質貸借促進事業を強力に推進し「やる気のある農家育成」のため農地のあせんを進めてまいりたいと存じます。

さらに畜産振興においては、高齢者の福祉向上を期するために昨年度に引き続き和牛生産素牛購入資金を貸付け、新たに和牛優良素牛保留補助金交付制度を設け、町和牛の改良・増殖に努める一方和牛・養豚等の一と二頭飼いも多頭飼育と併せて奨励し飼料作物の増産に努めてまいりたいと存じます。

養鶏事業につきましては、養鶏連と連携を密にしながら養鶏連が実施する畜産経営環境保全集落教育事業に協力していきたいと存じます。

すでに北山地区に建設いたしました農村生活改善センターは農村生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまいりたいと存じます。

県営は場整備事業によって年次的に約二九四ヘクタールを施行してまいりました。昭和五十三年度の住吉地区約三〇ヘクタールをもつては場整備はほぼ完了することになりました。今後はその地力作りを農政の面で努力してまいりたいと存じます。

西別府線延長四五八八メートル（始良町分延長一八〇〇メートル）、総事業費一億二千八百万円（始良町分工事費一億円）で昭和五十六年完成を目指して計画いたしました。今後も財源のゆるす範囲で農道排水施設等の改良整備を行つてまいりたいと存じます。

林業構造改善事業も最終年度であります。林道新設六三五メートル、作業道五路線二五〇〇メートル間伐林道三八〇メートルを建設する計画であります。

商工観光につきましては、商工

会を中心とした全般の向上と商店街開発に力を注ぎ、消費者サービスに努めてまいります。

夏まつり、町内で働く者の激励

大会等は今年度も実施してまいり

たいと存じます。

水産業においては、栽培漁業の

推進、漁具の改良、魚道改修、魚

族の繁殖保護等を行つてまいりた

いと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまい

りたいと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまい

りたいと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまい

りたいと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまい

りたいと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまい

りたいと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまい

りたいと存じます。

畜産振興においては、高

齢者の福祉向上を期するために昨

年度に引き続き和牛生産素牛購入

資金を貸付け、新たに和牛優良

素牛保留補助金交付制度を設け、

町和牛の改良・増殖に努める一方

和牛・養豚等の一と二頭飼いも多

頭飼育と併せて奨励し飼料作物の

増産に努めてまいりたいと存じま

す。

養鶏事業につきましては、養鶏

連と連携を密にしながら養鶏連が

実施する畜産経営環境保全集落

教育事業に協力していきたいと存

じます。

すでに北山地区に建設いたしま

した農村生活改善センターは農村

生活改善の研修の場として住民生

活の向上を図るよう努力してまいりたいと存じます。

畜産振興においては、高齢者の福祉向上を期するために昨年度に引き続き和牛生産素牛購入資金を貸付け、新たに和牛優良素牛保留補助金交付制度を設け、町和牛の改良・増殖に努める一方和牛・養豚等の一と二頭飼いも多頭飼育と併せて奨励し飼料作物の増産に努めてまいりたいと存じます。

養鶏事業につきましては、養鶏連と連携を密にしながら養鶏連が実施する畜産経営環境保全集落教育事業に協力していきたいと存じます。

すでに北山地区に建設いたしました農村生活改善センターは農村生活改善の研修の場として住民生活の向上を図るよう努力してまいりたいと存じます。

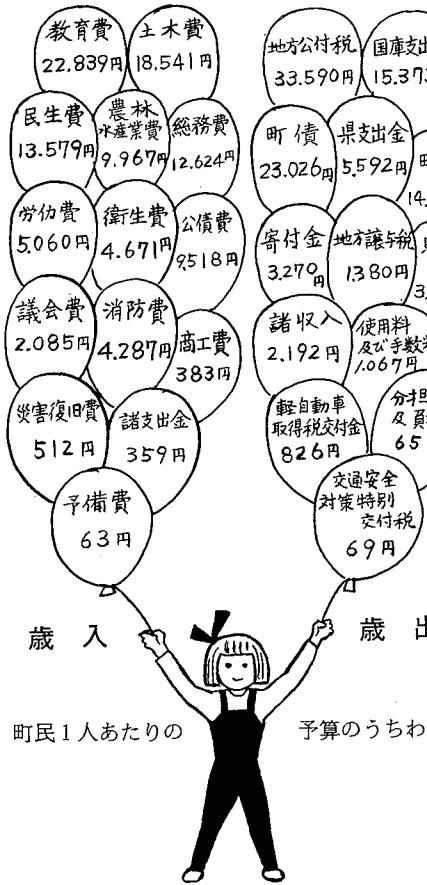
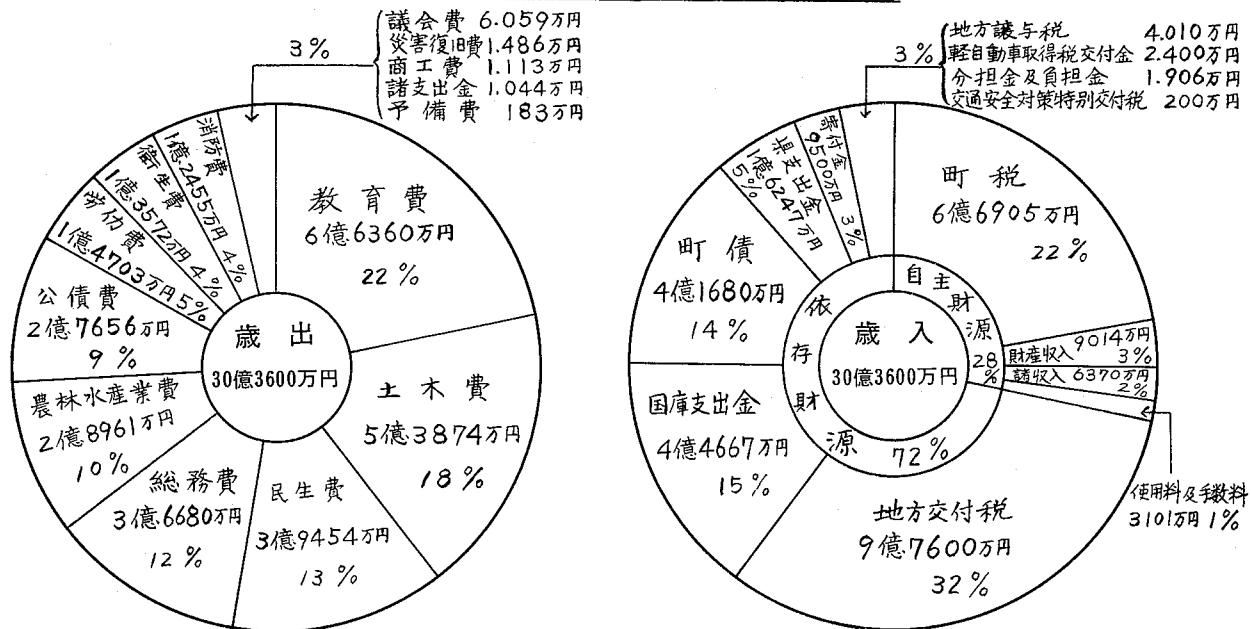
畜産振興においては、高齢者の福祉向上を期するために昨年度に引き続き和牛生産素牛購入資金を貸付け、新たに和牛優良素牛保留補助金交付制度を設け、町和牛の改良・増殖に努める一方和牛・養豚等の一と二頭飼いも多頭飼育と併せて奨励し飼料作物の増産に努めてまいりたいと存じます。

養鶏事業につきましては、養鶏連と連携を密にしながら養鶏連が実施する畜産経営環境保全集落教育事業に協力していきたいと存



# 今年の予算の使いみちは 一般会計 30億3千6百万円

## 53年度一般会計当初予算



昭和五十三年度当初予算の編成にあたって、景気の速やかな回復のための住民生活の基盤となる道路や社会資本の整備を中心とした公共事業の強化促進を意としながら後年度財政負担（公債比率の一・一パーセント台抑制）を推考し、一般行政経費は極力抑制・節減合理化に努め、町税の適正な賦課徴収の確保・使用料・手数料等の適正化を推進し財政収入の確保に努め、財源の重視的、かつ効率的な配分を行い住みよい町づくりを実現するために一般会計で昨年度当初予算額より一四パーセント伸びた予算額三十億三千六百万円を編成しました。

歳入の主なものは

Category	Amount (万円)
教育費	二億九千一百九十二万円
土木費	一億七千五百七万円
民生費	六千三万円
農林水産業費	八千四十七万円
総務費	二億七百六十六万円
労働費	一億六千五百四十八万円
衛生費	一億三千六百三十四万円
公債費	一億六千九百三十三万円
議会費	一億六千九百二十一万円
消防費	一億五千九百六十一万円
商工費	一億五千九百六十一万円
災害復旧費	七千八十一万円
諸支出金	一億一千九百九十九万円
地方交付税	九億七千六百万円
一般財源	一億五千二百四十五万円
一般財源の内訳として	六億六千九百一一万円
地方公付税	一七億九千七百五十六万円
県支出金	四億一千六百八十万円
地方債	二億一千二百五十六万円
特定財源	二億一千二百五十六万円
町債	一億六千二百四十七万円
県支出金	一億六千二百四十七万円
地方公付税	一億六千二百四十七万円
国庫支出金	一億六千二百四十七万円
国庫支出金	一億六千二百四十七万円
教育費	一億六千二百四十七万円
土木費	一億六千二百四十七万円
民生費	一億六千二百四十七万円
農林水産業費	一億六千二百四十七万円
総務費	一億六千二百四十七万円
労働費	一億六千二百四十七万円
衛生費	一億六千二百四十七万円
公債費	一億六千二百四十七万円
議会費	一億六千二百四十七万円
消防費	一億六千二百四十七万円
商工費	一億六千二百四十七万円
災害復旧費	一億六千二百四十七万円
諸支出金	一億六千二百四十七万円
予備費	一億六千二百四十七万円

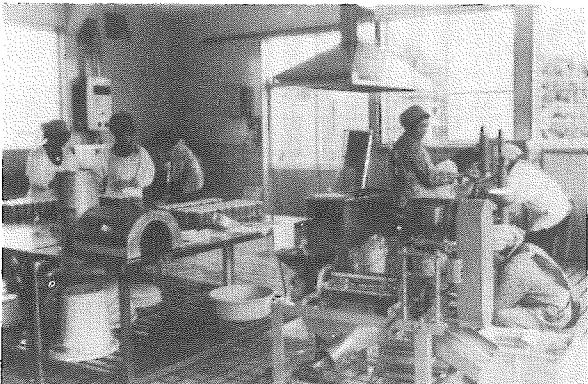
その他

であり、依然として自主財源八億五千三百六十万円で歳入全体の二八パーセントを示し依存財源による財政であります。

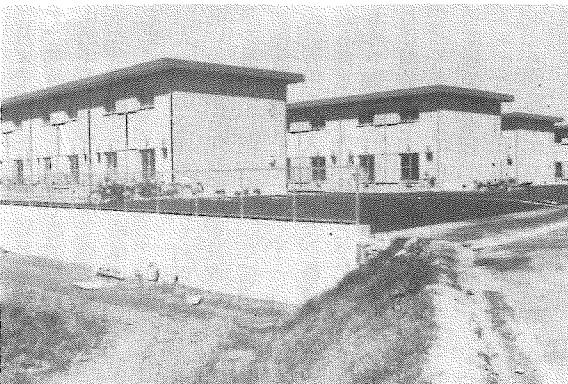
## ことしの基本的予算編成は

今年の予算の使いみちの主なものは

△教育費▽二億九千一百九十二万円  
△中学校費▽一億七千五百七万円  
△幼稚園費▽六千三万円  
△社会教育費▽八千四十七万円  
△土木費▽二億七百六十六万円  
△道路橋梁費▽一億六千五百四十八万円  
△都市計画費▽一億三千六百三十四万円  
△社会福祉費▽一億六千九百三十三万円  
△児童福祉費▽一億六千九百二十一万円  
△住宅費▽一億五千九百六十一万円  
△道橋架設費▽一億三千六百三十四万円  
△教育費▽二億九千一百九十二万円  
△中学校費▽一億七千五百七万円  
△幼稚園費▽六千三万円  
△社会教育費▽八千四十七万円  
△土木費▽二億七百六十六万円  
△道路橋梁費▽一億六千五百四十八万円  
△都市計画費▽一億三千六百三十四万円  
△社会福祉費▽一億六千九百三十三万円  
△児童福祉費▽一億六千九百二十一万円  
△住宅費▽一億五千九百六十一万円  
△道橋架設費▽一億三千六百三十四万円

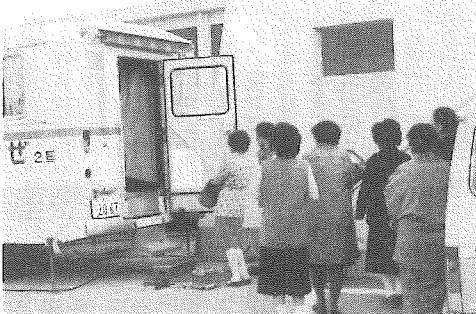


生活改善センター（実習室） 北地域の農業振興の中核となり魅力ある生活環境をつくるために毎日各グループが生活改善の学習会やジュース・ジャム・ソバつくり等でにぎわっています。



公営住宅 都市化の進展や雇用の安定を図るために毎年次計画により耐火構造の町営住宅建設を行っています。昭和53年度は16戸を建設計画

## 写真で見る岩根 福祉・教育・基



重富中改築工事完成 老朽化した危険校舎の改築工事を積極的に推進し、人間形成の場を年次的に整備しています。

関連記事として6ページ帖佐中改築工事完成写真説明へ続きを読む。



ほ場整備 昭和46年から県営ほ場整備事業を導入し年次的に約294ヘクタールを施行し、昭和53年度約30ヘクタールをもって完了します。今後は本町の良質な中心地として有効利用されるよう期待されています。

## みどり 田園都



都市計画 将来の市制を施行するにふさわしい都市計画総合計画の樹立で街路・公園・下水道・その他必要な都市施設の配置でみどり豊かな都市像を計画しています。



建昌幼稚園 人間形成をめざす学校教育の第一歩として幼児教育の充実を図り強い意志と創造性をもつ教育文化に努めています。



勤労者体育センター 町民が待望していた屋内体育施設が昭和53年3月4日完成し、町民の親和と連帯性をはかりねばり強い精神力をもつ青少年と活動力にみちた町民の育成に努めています。

## 町政の施策と成果 盤整備など各面

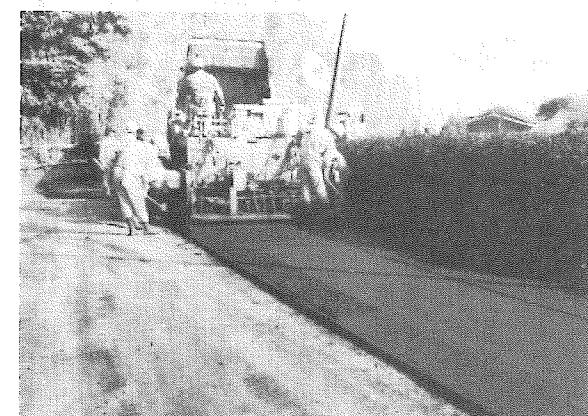
### 豊かな 市つくり



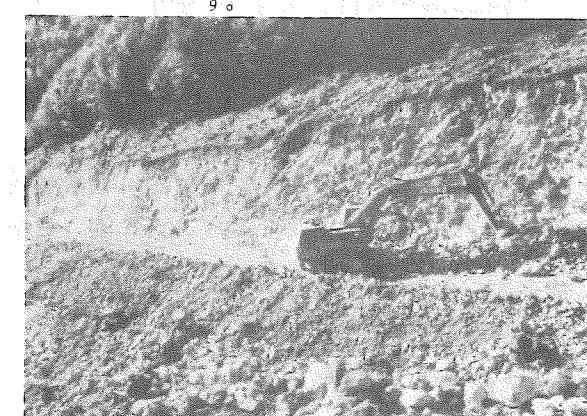
合同金婚式 老人をいたわり大切にし、老人の能力をいかしあ生きがいを高め、老人の孤独をなくし住民との交流を深め、明るく生きがいのある老後が送られるような福祉のまちづくりに努めています。



帖佐中改築工事完成（重富中改築工事完成写真説明続き）児童急増対策として小学校の新設校予定敷地の購入等に力を注ぎ学校教育に一段の配慮を尽しています。



道路改良 每年重点施策である道路改良・アスファルト舗装・生活道路舗装・側溝・石積み工事などの工事を各所で進めています。



林道開設 昭和49年度から実施している林業構造改善事業で林道新設・作業道・間伐林道等を年次的に新設改良し林業振興に意欲的に取り組んでいます。





# 地域や家庭で 輪を広げよう

梅の花も満開となつた二月二十日好評を拍して、いる町社会教育大会が町公民館で盛大に行われました。

この大会も、今年で第四回目を迎え、回を重ねるにつれ、内容の充実した大会が繰り広げられて、今年度も、すばらしい成果をおさめました。

豊かで本当に生きがいのある地域社会つくりをめざし、人間関係の樹立に努め活躍された六人と六団体、またすでに国・県から表彰を受けられた四人と四団体の表彰伝達式も併せて行われました。

講師の先生を中心の一晩昼夜熱心に勉学された努力に対し社会教育学級の修了証書を学級生の代表に授与されました。

修了証書を手にした学級生達は感無量の様子でした。

これから地域つくりに人間育成として一年間みっちり勉強されたことを地域や家庭で役立てて楽しい輪を広げてほしいものです。

大会終了後、アトラクションで

は、かねて練習に励んだ成果を舞台狭しと披露し、会場一杯につめかけた観客の拍手が大きいを浴びていました。

また各会場には大ホールの舞台で披露できなかつた生花・陶芸・絵画・書道等の力作が展示され観客の目を引いていました。

活気のある地域活動・いきがい

ハーモニーもみごとな  
コーラスグループ



ある家庭生活を送るために社会教育学級は大きな成果をあげています。



観客の拍手かっさいの三味線教室生

みなさんも、町公民館の社会教育に参加し、地域・家庭生活に活用してみませんか。

この日表彰されたかた、団体は次のとおりです。（敬省略）

子供会関係

永力弘治・出水一・松原上子ども会・青葉台子ども会

スポーツ少年団・北山剣道スポーツ少年団・三船剣道スポーツ少年団

重富小学校少年団・北山剣道スポーツ少年団・三船剣道スポーツ少年団

丸尾フジエ・河野種子

社会体育関係

庄村義夫

婦人会関係

山田校区婦人会

東 幸子

郡山 悟

県民局表彰

瀬戸口一郎

県体育協会表彰

松元八千・岩崎部落子ども会

県民運動推進協議会表彰

山田校区婦人会

東 幸子

PTA関係

建昌小学校PTA

善行賞

有馬純也

全国公民館連絡協議会表彰

国・県表彰伝達式

瀬戸口一郎

県体育協会表彰

郡山 悟

全国公民館連絡協議会表彰

国・県表彰伝達式

瀬戸口一郎

善行賞

河川を守る会長

表彰状の伝達を受ける榎田会長

## みんなの表彰 河川を守る会に知事表彰

町内全戸で組織している「始良町河川を守る会」が県の河川愛護運動の優秀団体として三月二十九日表彰状の伝達式が町長室で行われました。

この会は、昭和五十年四月に発足し役員一人三人で年間事業計画に従い活動を行っています。

町内を流れる別府川・思川のやぶ払い・堤防野焼・河川への不法投棄の取締・各部落の河川の清掃等を重点対策として取

### 広報からのお知らせ

△係では、よい広報紙を作るため、皆さんからのご意見ご要望をお待ちしています。

△自分の知っていることで、町民に知らせたいことなどありますたら、お知らせください。

△今回は、紙面の都合で行政組織の記事は掲載できませんでした

小作地については、昭和五十五年九月三十日まで従前の小作料となっています。参考までお知らせしますと前、すでに権利が設定されている



## 標準小作料

### 改定される

(昭和五十三年三月五日改正)

標準小作料は三年ごとに改定されることとされています。

今年は、前回改定を行った四十九年度から数えて三年目に当たります。

標準小作料は、農業委員会が管

改定標準小作料 (昭和45年10月1日以後契約したもの)

50年3月5日改定の分			53年3月5日改定の分		
区分	金額	規 準	区分	金額	規 準
上田	12,000 円	反収 420 K (10アール)	上田	18,000 円	反収 420 K (10アール)
中田	10,000 円	370 K ( " )	中田	14,000 円	370 K ( " )
下田	7,000 円	350 K ( " )	下田	10,000 円	350 K ( " )

小作地については、昭和五十五年九月三十日まで従前の小作料となっています。参考までお知らせしますと前、すでに権利が設定されている

小作地については、昭和五十五年九月三十日まで従前の小作料となっています。参考までお知らせしますと前、すでに権利が設定されている

小作地については、昭和五十五年九月三十日まで従前の小作料となっています。参考までお知らせしますと前、すでに権利が設定されている

## 今すぐ加入を! 国民年金未加入者へ

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老齢年金支給額は、加入期間が長いほど有利です。  
該当者で、まだ加入していない人は、今すぐ加入の手続きをとりましよう。

老齢年金支給額は、加入期間が長いほど有利です。  
該当者で、まだ加入していない人は、今すぐ加入の手続きをとりましよう。

老齢年金支給額は、加入期間が長いほど有利です。  
該当者で、まだ加入していない人は、今すぐ加入の手続きをとりましよう。

## スポーツ短信

年も新たに、各協会主催のスポーツ大会で老若男女を問わず熱戦をくりひろげました。各スポーツ大会の成績は次のとおりでした。( )は出場チーム数です。

地区剣道大会  
2月11日実施 帖佐中  
中学生の部(十四チーム)  
優勝 北山中Aチーム  
準優勝 帖佐中Bチーム  
三位 帖佐中Aチーム  
" 重富中Aチーム  
スポーツ少年団の部(三十チーム)  
優勝 建昌少Aチーム  
準優勝 建昌少Bチーム  
三位 建昌少Cチーム  
北山少Cチーム  
准優勝 並木チーム

### ゲートボール大会

2月19日実施の部(二十五チーム)  
優勝 建昌Aチーム  
準優勝 北山中Bチーム  
三位 白金原Bチーム  
" 北山下Aチーム  
優勝 思川東チーム

3月1日実施の部(二十五チーム)  
準優勝 木津志Bチーム  
三位 建昌チーム  
準優勝 白金原Aチーム  
" 白金原Bチーム  
始良勤労者体育センター落成記念  
バレーボール大会  
3月4日実施 体育センター

家庭婦人バレーボール大会  
3月19日実施 体育センター  
A級の部(三チーム)  
優勝 建昌チーム  
準優勝 重富チーム  
三位 三船チーム  
B級の部(六チーム)  
優勝 十日町チーム  
準優勝 東原東チーム  
三位 建昌チーム  
並木チーム

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。

老後の生活や不慮の事故などに備える国民年金は、会社員や公務員など一部の人を除いて、二十歳以上の日本人全員が加入しなければならないことになります。